

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	●事業の分析（評価の根拠・理由）															
	服部台明星線道路整備工事において、事業区域内において当初計画されていなかった既設横断水路の付替え工事が発生したため、計画通り工事が完了できませんでした。															
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。															
	<table border="1"> <caption>服部台明星線事業進捗率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>34.3%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>34.3%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	進捗率	H30	5.3%	R1	34.3%	R2	34.3%	R3	50.4%	R4	100.0%
	年度	進捗率														
H30	5.3%															
R1	34.3%															
R2	34.3%															
R3	50.4%															
R4	100.0%															
評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある													
評価の根拠及び理由																
服部台明星線道路整備事業の実施により、上牧交差点の渋滞緩和や主要施設へのアクセス性強化と交通の円滑化が見込まれます。計画から時間が経過した未着手路線については、計画当初と比べて人口減少等社会情勢が変化し、大型商業施設の出店等で交通量が変化している等、社会情勢に合わせた道路網の整備を行っていく必要があります。																
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない												
	評価の根拠及び理由															
	都市計画道路の整備について、道路幹線網における計画路線の存続及び廃止について整理を行い、廃止候補路線については、都市計画法に則って手続きを進めます。また、将来的には存続路線について道路整備をいかに進めていくか検討していく必要があります。															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 都市計画道路存続路線のうち未整備路線は、全て県道となるため奈良県へ道路整備を進めていくよう要望していきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	① 交通体系		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 幹線道路の整備			
	服部台明星線道路整備事業として、令和5年度開通に向けて服部台明星線道路整備工事及び下牧高田線道路改良工事を行っていきます。 都市計画道路の見直しについては、都市計画審議会を開催し、都市計画法に則り廃止候補路線3路線（河合濁香滝線・五軒屋南上牧線・服部台明星線）の変更・廃止の手続きを進めていきます。				
	指標（予定）	KPI	服部台明星線（服部記念病院前～奈良友誼会病院前）事業進捗率	100%	
		—			
—					
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

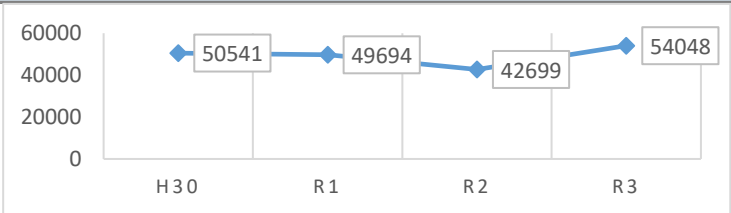
達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																								
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																											
	<p>・第2次緊急輸送道路である下牧高田線の路線内にある上牧新橋については、耐震補強工事が完了しました。</p> <p>・第1巡目（平成29年度）の橋梁定期点検で健全度判定がⅢ判定であった高来橋について、補修工事が完了しました。</p> <p>・第2巡目の橋梁定期点検（1/2）を実施しました。</p> <p>健全度判定結果として、健全度判定Ⅰ（8橋）判定Ⅱ（2橋）判定Ⅲ（1橋（三軒屋橋））判定Ⅳ（0橋）</p> <p>下牧地区における鋼製橋（無管理者橋）において、自治会要望として錆がひどく修繕を依頼する要望がありましたので、定期点検を実施しました。点検結果は判定Ⅰでした。</p> <p>錆が出ているものの高欄、橋桁の倒壊はないとの判断ができる結果でありました。</p>																																																											
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																											
	<p>令和4年3月時点</p> <p>緊急輸送道路に係る道路橋梁の耐震化進捗状況 （事業費ベース）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPIの状況(橋梁補修・耐震工事)</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> </tr> <tr> <th>西暦</th> <th>和暦</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>17%</td> <td>31%</td> <td>37%</td> <td>42%</td> <td>56%</td> <td>73%</td> <td>81%</td> <td>92%</td> <td>92%</td> <td>92%</td> <td>96%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td>17%</td> <td>31%</td> <td>37%</td> <td>46%</td> <td>67%</td> <td>73%</td> <td>88%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>つくも橋 100%（第1次緊急輸送路を跨ぐ道路橋）</p> <p>岡在橋 100%（ // ）</p> <p>上牧新橋 100%（第2次緊急輸送道路）</p>				KPIの状況(橋梁補修・耐震工事)		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	西暦	和暦	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	目標値		17%	31%	37%	42%	56%	73%	81%	92%	92%	92%	96%	100%	実績値		17%	31%	37%	46%	67%	73%	88%					
	KPIの状況(橋梁補修・耐震工事)		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026																																														
西暦	和暦	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																															
目標値		17%	31%	37%	42%	56%	73%	81%	92%	92%	92%	96%	100%																																															
実績値		17%	31%	37%	46%	67%	73%	88%																																																				
評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																									
評価の根拠及び理由																																																												
<p>経年劣化等で上牧町内道路橋梁の損傷状況や外観、高欄の劣化が進んでいる状況であり、地元からの修繕の要望も多く、計画的な整備と損傷状況に応じた柔軟な対応が必要であると考えます。</p> <p>また、緊急輸送道路に係る橋梁並びに一般道路橋梁についても、耐震化の要請があります。</p>																																																												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																								
	評価の根拠及び理由																																																											
	<p>緊急輸送道路に係る橋梁並びに一般道路橋梁についても耐震化をする必要があるが、橋梁長寿命化の観点からまず予防保全としての修繕による延命化が最善であると思われま。</p> <p>また、維持管理の観点から橋梁の撤去や集約化についても検討する必要があります。</p>																																																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	① 交通体系		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 幹線道路の整備			
	第2巡目の橋梁定期点検（2/2）を実施し、管理橋梁（全23橋）の点検が完了いたします。				
	指標（予定）	KPI	橋梁補修・耐震工事	92%	
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から引き続き消毒の徹底等コロナウイルスの感染防止対策に努めました。 転入世帯等への案内による周知を行いました。 			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>高齢者の増加に伴い、町内を移動できる手段の確保は急務となっています。路線バスとコミュニティバスの共存を進め、交通弱者の一助になるよう、より良い環境整備を進める必要があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>コミュニティバスの運行において、運転技術や事故後の対応等様々な課題が発生しており、ルートやダイヤの調整等に向けて情報収集を行うと同時にシルバー人材センターと協議のうえ運用マニュアルの作成を検討する必要があると考えます。また、コロナ禍にあっても引き続き運行を継続していることから、感染防止対策を十分に行う必要があると考えます。</p>			



4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 運行中に生じる課題に対し、ルートやダイヤの調整等を行うことにより改善していきます。				
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—			
		基本施策	① 交通体系			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 公共交通の利便性向上				
	引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策の一環として、日々の消毒を実施します。また、運行中に生じる様々な課題に加え、服部台明星線の開通に伴う課題等も踏まえたルートやダイヤの調整等を検討していきます。ささゆり号の買い替えにつきましては、令和4年度内に適宜実施します。					
	指標（予定）	KPI	コミュニティバス延べ利用者数（年間）		55,000人	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	上牧町交通網対策検討会議を開催するにあたり、課題を整理し十分な議題を準備することができなかったため、実施できませんでした。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	高齢化の進展に伴い、公共交通に対する依存度は高まっていくと考えられます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	上牧町交通網対策検討会議の開催に向けて、公共交通への課題やニーズを整理し、検討会議で諮問する施策について検討していく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズに応えるためにどのような対策を講じるべきかについての課題の洗い出しを行い、上牧町交通網対策検討会議を設置していきます。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—	
		基本施策	① 交通体系	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 公共交通の利便性向上		
	上牧町地域公共交通会議の開催を目指して、他市町村の先進事例を収集し、会議設置規則の制定に向けて準備を行います。それに先駆けて上牧町の公共交通問題について関係各課に検討して頂く場として内部検討会の開催を考えていきます。地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍からの世界経済回復に伴う原油の需要増等により、燃油価格の高騰の影響を受けながらも町民の日常生活や経済活動を支える重要なインフラとして運行しているタクシー事業者を対象に、燃料上昇分の一部を支援金として交付し、地域公共交通の維持確保に努めます。			
	指標（予定）	KPI	上牧町地域公共交通会議開催数（年間）	—
		独自	上牧町交通網対策検討会（内部検討会）	1回
—				
—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった								
	●事業の分析（評価の根拠・理由）											
	道路整備路線について、平成29年度に策定した道路長寿命化計画に加え各自治会の要望に鑑み、各自治会に修繕要望路線について意見聴取を行い決定しています。 CBR測量設計業務 桜ヶ丘26号線 269m、片岡台25号線 240m、滝川台18号線 135m、緑ヶ丘1号線 274m、北上牧三軒屋線 252m、南上牧五軒屋線 1,245m 合計6路線 2,415m 道路整備工事 片岡台7号線 267m、桜ヶ丘7号線 274m、桜ヶ丘34号線 260m、友が丘10号線 360m、桜ヶ丘葛下川線（3工区）280m、濁明星線（2工区）300m、松里園20号線 185m、新町三軒屋線 470m 合計8路線 2,396m											
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。											
	KPIの状況（道路舗装）											
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	13km 33%	15km 38%	17km 43%	19km 48%	21km 51%	22km 55%	23km 58%	26km 65%	29km 73%	32km 80%	36km 90%	40km 100%
実績値	13km 33%	14km 35%	16km 40%	17km 42%	20km 49%	22km 54%	24km 60%					
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない								
	評価の根拠及び理由											
	車道整備について、令和2年度末現在のKPIは22kmであり目標通りであるが、今後は年3.5kmの修繕が必要となります。過年度の修繕路線及び工法は、主要路線（幅員が広い）及び打ち換え工法による修繕が多く見受けられていたため、修繕延長が伸びていません。今後は、修繕断面が簡易な工法（切削オーバーレイ）に変わりつつあるため、修繕延長が伸びる方向となる見込みです。歩道整備について、令和3年度末現在まだ手つかずの状態であり、今後は歩道修繕事業についても検討していく必要があると思われます。											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 道路整備については、舗装の長寿命化を図るため、個別施設計画並びに自治会要望を勘案し、道路環境並びに道路網の整備を進めていきます。 歩道整備事業について、現在、車道部分の整備を主として工事を実施していますが、今後は歩道整備についても計画を立て順次、実施していく必要があります。 自転車道の整備について、他市町村の動向に鑑みるとともに、県管理課との調整並びに警察との協議を行い、実施の有無並びに規模等について勘案していきます。					
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—				
		基本施策	① 交通体系				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 生活道路の整備					
	道路整備	整備工事 9路線 L=1.9km					
	歩道維持修繕計画策定	歩道延長 L=28.1km					
指標（予定）	KPI	道路舗装				26km	
	KPI	橋梁補修・耐震工事				92%	
	—						
	—						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>近年、交差点等での車両と歩行者による痛ましい交通事故が多発していることを受け、本町としても幅員が狭い箇所、見通しの悪いカーブ、利用者の多い交差点、通学路に指定されている交差点での安全対策について、下記の事業の分析内に示す箇所において安全対策工事を実施しました。</p> <p>交通安全対策工事における道路のカラー化並びに交差点の安全対策については、通学路交通安全プログラムにて挙げられた項目であり、また、通学路の指定の有無、学童人数、交通量等の要素による優先順位を定めた資料をもとに、3箇所の交差点にて対策工事を実施しました。</p> <p>交通安全施設工事における区画線において、雨天時は区画線の視距が悪くなるとの要望に対し、令和元年度に市内の交通安全対策関係課協力のもと町内における区画線の総延長並びに視距の有無について計測し、路線毎の交通量、幅員等の要素による優先順位を定めた資料をもとに、区画線の復旧工事を実施しました。</p>			
二丁の方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>小規模住宅改良事業 交通安全対策工事 路肩部グリーン化 L=588m、A=316㎡（桜ヶ丘地区） 交差点安全対策（車止めの設置） N=3箇所（三軒屋地区、下牧地区、片岡台地区） カーブミラー設置 N=14箇所（ささゆり台地区、南上牧地区、米山台地区、下牧地区、桜ヶ丘地区） 交通安全施設工事 区画線設置・復旧 L=4,088m（下牧地区、大字上牧地区、桜ヶ丘地区、南上牧地区、服部台地区） 車線分離標 復旧 N=11（ささゆり台地区他） 街路樹及び歩道改修 桜 N=4本撤去 N=2本植え替え（桜ヶ丘（西名阪沿い））</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>小規模住宅改良事業について、用地買収範囲の道路改良工事は終盤に差し掛かっていましたが、用地未買収区間の道路改良工事の実施の有無については、近隣住民から意見を求められることが増えてきたと思われます。</p> <p>幅員が狭い箇所、見通しの悪いカーブ、利用者の多い交差点、通学路に指定されている交差点での安全対策が求められると思われます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>北上牧南地区で境界未確定地となっている町有地の整理を行い、今後の事業用地の利用計画等について検討をしていく必要があります。</p> <p>町内各所において、幅員が狭い箇所、見通しの悪いカーブ、交差点等の改良箇所等について、改良改善を進めていく必要があります。カーブミラーの管理台帳について、町内にあるカーブミラーにおいて、設置位置、サイズ等が管理できるよう各地区毎に台帳を作成します。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>北上牧地区の小規模住宅改良事業については、計画に基づき事業を進めていきます。</p> <p>違法駐車や放置自転車の取り締まり並びに啓発活動を実施します。</p> <p>通学路における路肩及び信号のない交差点部のカラー化等による車両と歩行者との空間を視覚的に分離することによる車両の通行速度の減速を図り、また通学路における交差点部においては車両の逸走時の安全対策を実施し、物理的な歩行者の安全対策を実施していき、安全で安心な通学環境を整える工事を実施していきます。</p>					
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—				
		基本施策	① 交通体系				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	④ 交通環境の改善					
	指標（予定）	KPI	交差点交通安全対策（バリカー設置）			65%	
		—					
—							
—							
—							

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	事業所に訪問し、ごみ分別方法の間違いを指導することができました。 広報にて食品ロス削減の啓発を行いました。また、減量化に向けた記事を掲載しました。 建設環境課窓口に、使用済インクカートリッジ回収ボックスを設置しました。 希望者に、EMポカシ菌の配布を行いました。（813袋）			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	2030年までに、SDGs 12「つくる責任 つかう責任」において、すべての国が、「一人当たりの食品廃棄量を全体で半分に減らすこと」「3R（ごみを減らし、再利用し、資源化すること）の促進」を目標に掲げていますので、上牧町も例外ではなく、ごみ減量に向けた啓発を行い、町民全体の意識をより高める必要があると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	事業所から排出されるごみについて、分別・排出方法・排出先について、周知徹底できていない部分があると考えますので、事業所に対してごみの出し方を指導する必要があります。また、ペットボトルキャップの寄附等を取り入れることで、少しでもさらなるごみ減量に向けた取組を考える必要があると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 引き続き、事業所から排出されるごみについて、分別及び減量について啓発を行います。 平成30年3月の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定時から5年を経過し、ごみ分別内容が策定当時から変更となっていることもあり、データと実績値の乖離がみられるため、計画を見直す必要があります。（令和6年度実施予定）		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	③ 都市環境一快適で住み良く自慢できるまちづくり	
		基本施策	② 環境衛生	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① ごみの減量化・資源の再利用		
	家庭系・事業系一般廃棄物ともに、分別及び減量について啓発を行います。			
	指標（予定）	KPI	再生資源集団回収量（年間）	824t
		KPI	資源ごみの収集量（年間）	184t
		KPI	可燃ごみの収集量（年間）	3002t
—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由） ふれあい収集対象者に対し、資源ごみの回収を開始しました。 利用者から「便利になった。」「分別の意識が生まれた。」等の声をいただきました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 高齢化に伴い、ごみ出し困難者が増加する中、収集体制の見直しが望まれます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 ごみ収集体制の構築については、現在採用しているステーション方式は特定の箇所にとめられているごみを収集するため、効率よく、収集時間の短縮、その後の作業（資源ごみ回収、リクエスト収集等）が円滑に遂行できるように効率的であるのに対して、戸別収集は収集時間を費やし、その後の作業にも影響を与え、各家庭に管理責任が生じるため、個々の負担増にもつながると考えられますが、今後高齢化が進む中、戸別収集も視野に入れながら、その時点において最適な収集体制を構築していきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） ごみの分別については、上牧町独自の分別ではなく、山辺・東北西部広域環境衛生組合全体での分別形態であるため、住民には十分に理解してもらえるよう情報発信に努めます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境－快適で住み良く自慢できるまちづくり－		
		基本施策	② 環境衛生		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② ごみ収集体制の構築・充実			
	指標（予定）	－			
		－			
－					
－					
－					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	定期的な巡回パトロールを行いました。維持管理については、墓地敷地内の通路溝の清掃や樹木の剪定伐採を実施しました。			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	町営墓地の維持管理については、適切に維持管理を行っていくとともに、参拝者の様々な要望に応じていくことが必要であると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	返還された墓地の使用許可について、現在、墓地の空きは26地あり、住民への周知方法として広報掲載・ホームページ掲載・チラシ配布等を行う必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 返還された墓地の使用許可について、住民への周知方法の見直しを行います。				
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—			
		基本施策	② 環境衛生			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 斎場・墓地の運営及び維持管理の充実				
	今まで通り、快適に墓参り出来るよう維持管理、パトロールを継続していきます。未使用墓地については、使用資格のある要望者に対し、使用許可を行っていきます。					
	指標（予定）	—				
		—				
		—				
—						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	・火葬炉大規模改修工事【9年計画（※）】を実施しました。 1号炉：炉操作制御盤更新 2号炉：全面積替及び付帯金物、設備機器更新 3号炉：炉前室シャッター更新 5号炉：炉操作制御盤更新、炉前室シャッター更新 （※）令和元年度に動物炉の改修を追加したため、8年計画が9年計画に変更となりました。 ・その他修繕等を行いました。 防犯カメラ13台→16台、空調改修工事、滝ろ過装置取替工事、汚水・排水ポンプ修繕			
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	【静香苑利用状況】		（単位：件）	
			（参考）上牧町のみ	
		全体		
	R02	R03	増減率	
火葬	832	868	1.04%	280 276 -1.43%
式場	290	250	-13.80%	96 88 -8.33%
法要室	13	28	215.30%	5 10 200.00%
霊安室	43	28	-35.90%	15 15 0.00%
動物の火葬	253	255	1.01%	98 88 -10.10%
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	築年数の経過に伴い、効率的な施設の管理・運営が求められています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	効率的な施設運営を図り、火葬炉大規模改修工事（9年計画）により計画的な改修を行っていきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 築年数の経過に伴い、施設の適切な維持管理のため、計画的に火葬炉大規模改修工事（9年計画）を行っていくとともに、必要に応じて設備の修繕等を行っていきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	② 環境衛生		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 斎場・墓地の運営及び維持管理の充実			
	指標（予定）	独自	火葬炉維持管理年次計画	67%	
		—			
—					
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>令和3年度において、開発事前協議は4件指導しました。4件の内訳は、分譲宅地2件、重ね建て長屋住宅1件、住宅型有料老人ホーム1件を指導しました。その中で特に重点的に指導した内容として、宅地開発については、開発地を出入りする車両が開発区域外の接続道路を通行する車両と交通事故を起こす懸念があるため、カーブミラーを設置し関係各課と協議して安全対策を徹底するよう指導しました。長屋住宅・老人ホーム開発については、工事車両の通行経路が小中学校の校区内であるため、関係各課と協議して安全対策を徹底するよう指導しました。</p> <p>また、開発許可申請については3件、宅地造成許可申請については1件の申請があり、内容を検討した結果都市計画法上問題ないことが確認できたため、「都市計画法上支障がないこと」を県に副申しました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>調和のとれた地域開発によって公共福祉の増進に努めていかなければなりません。人口減少に伴い今後新たな開発が行われる機会は減少すると考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>現在は現行の「上牧町住宅地等開発事業に関する指導要綱」及び「上牧町小規模住宅地等開発事業に関する指導要綱」に基づいて開発指導を行っていますが、今後県の開発指導要綱（開発許可制度に関する審査基準集）の更新や人口減少等時代の変化に合わせて、将来的には上牧町の特性に対応した開発指導要綱の見直しが必要になってくると考えられます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「上牧町住宅地等開発事業に関する指導要綱」及び「上牧町小規模住宅地等開発事業に関する指導要綱」の改定に向けて参考になるような他市町村の開発指導要綱の調査を行い、内容について研究していきたいと考えています。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	③ 住宅		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 良好な住環境の確保			
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
		—			
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	維持管理（修繕）については、適正に実施しました。 【住宅整備の状況】 町 営 住 宅 管理戸数 222戸 入居戸数 147戸 空家戸数 75戸 町営第1住宅：管理戸数 34戸 入居戸数 34戸 空家戸数 0戸 【除却戸数 1戸（転出）】 町営第2住宅：管理戸数 60戸 入居戸数 34戸 空家戸数 26戸 町営第3住宅：管理戸数 20戸 入居戸数 12戸 空家戸数 8戸 町営第4住宅：管理戸数 30戸 入居戸数 16戸 空家戸数 14戸 町営第5住宅：管理戸数 54戸 入居戸数 36戸 空家戸数 18戸 町営第6住宅：管理戸数 24戸 入居戸数 15戸 空家戸数 9戸 改 良 住 宅 管理戸数199戸 入居戸数169戸 空家戸数 30戸			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	各住宅の老朽化に伴う修繕等が増えてきているため、また、高齢化している住民からの要望に対して、迅速に対応する必要があると思われまます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	各住宅の建築年数や現状を調査し、今後の方向性を具体的に明確化していく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 老朽化している各住宅の維持管理（修繕）を計画的に行い、また、住民が高齢化しているため、住みよい住宅にするため、具体的な方向性を検討する必要があると思われまます。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	③ 住宅		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 町営住宅等の適正な管理運営			
	指標（予定）	KPI	町営住宅管理戸数	421戸	
		—			
		—			
—					

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	まちづくり推進課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	64ページ
担当係	都市計画係	関連部局	企画財政課		

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—
	基本施策	③ 住宅
	施策の展開方向	③ 空き家活用プロジェクト
目指す姿	タイトル	町民が安心して住み続けられるまち
	高齢者と若者が共生し、お互いが助け合い一人ひとりが自立した生活を過ごせ、町内の既存住宅を有効活用でき、町民が安心して住み続けられるまちを目指します。	
想定される取組	【空き家バンク登録物件説明会開催】 【登録物件調査及び活用事例の紹介】 【空き家情報の発信】 【貸主と借主との仲介】	
令和3年度実施予定	趣旨目的	<ul style="list-style-type: none"> ・上牧町空き家・空き地バンク登録促進を行います。 ・上牧町空き家・空き地バンク登録物件の登録者と利用者の仲介を行います。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人 空き家コンサルジュと共同で「空き家セミナー・相談会」を開催します。 ・特定非営利活動法人 空き家コンサルジュと共同で空き家状況の確認します。 ・利用者に対して登録物件の案内を行います。 ・税務課による固定資産税納税通知書発送時に空き家・空き地バンク登録促進パンフレットを同封します。
総合戦略の取組	23. 空き家利活用の推進	

2. 実施結果「D0（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）	
事業費	空き家相談窓口・空き家バンク支援業務委託料	0	0	0	0	347	
		0	0	0	0	105	
合計	(R03時点)	0	0	0	0	347	5年間累計 347
	(R04時点)	0	0	0	0	105	5年間累計 105
令和3年度実施結果	実施状況	①計画通りに実施した					
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)						

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
KPI	町内の住宅における耐震化率	%	84.8	89.8	—	95	96
KPI	町内空き家の利活用数	%	0	—	10 2	10	20
独自	空き家・空き地バンク登録件数(累計)	件	—	—	10 4	—	—
独自	既存木造住宅耐震改修補助件数(年間)	件	—	—	2 0	—	—

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度に引き続き、税務課に依頼して固定資産税納税通知書発送時に、空き家・空き地バンク登録促進パンフレットを同封して啓発しました。</p> <p>特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュと共同で「空き家セミナー・相談会」の開催し、1件のバンクへの登録相談を受けており、現在所有者が登録へ検討中です。</p> <p>(R4. 3. 31時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク利活用物件数 1件 ・空き家バンク登録物件数 2件 ・町内空き家件数 64件 <p><町内空き家の利活用戸数> (1件/64件) × 100 ÷ 2% (1.56%を四捨五入)</p>			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>少子高齢化の進展に伴い、今後も空き家件数は増加していくことが見込まれるため、空き家に関する問題についても増加すると考えられます。</p>			
事業の見直し余地(改善点)	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>空き家実態調査にて空き家・空き地バンクを知らない所有者が全体の60%にも上り、周知を徹底していく必要があります。空き家・空き地バンク情報等を広報に掲載し、ホームページ情報も拡充していく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了 (時期:)		
	改善内容(改善点に対する改善方法等)	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり (下の枠に改善内容を記載してください。) <p>上牧町空き家・空き地バンク及び空き家コンシェルジュの情報提供を空き家所有者に対して行い、持て余している空き家のバンク登録を促します。</p> <p>バンクのホームページを改善して、より見やすく分かりやすいものにします。</p>		
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続(名称変更) <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—	
令和4年度実施予定(改善内容を踏まえて記載してください。)		基本施策	③ 住宅	
		施策の展開方向	① 良好な住環境の確保	
		空き家問題の分野は多岐に渡るため、関係各課と連携を図りながら、空き家問題の取組に詳しい特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュの知識を汲み取り、空き家対策に取り組んでいく必要があります。また、空き家のみならず空き地に関して、関係課である建設環境課と連携し、管理不全空き地所有者に対して是正勧告を行う際に、空き地バンク登録を促す取組を実施します。空き家所有者に対して空き家について考える機会を作る目的として、空き家・空き地バンク及び空き家コンシェルジュを知らないが興味がある所有者に対して資料を送付していきます。		
指標(予定)	KPI	空き家・空き地バンク登録件数	10件	
	KPI	既存木造住宅耐震改修補助件数(年間)	2件	
	独自	既存木造住宅耐震診断支援件数(年間)	5件	
	—			
	—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																			
	<p>令和3年度において、これまで協議が続けられていた西大和片岡台団地における生活支援アドバイザー（※）が新規配置されました。また、鶴舞団地の現地視察、教育委員会部局を交えた学校適正化の内容、都市計画についての内容等、協議を重ねました。</p> <p>（※）生活支援アドバイザーとは 高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担います。</p> <p>【UR都市機構との勉強会】</p> <p>平成29年度 … 1回（UR都市機構の計画・方針の確認、UR西大和片岡台の課題の共有等） 平成30年度 … 5回（連携内容についての協議等） 令和元年度 … 3回（「地域医療福祉拠点化の推進」に係る調整、施設改修（リノベーション、外壁塗装等）方針の確認等） 令和2年度 … 3回（新型コロナウイルス感染症関連支援策の情報提供、既存サービス・事例紹介、総合計画の策定方針・スケジュール確認等） 令和3年度 … 5回（学校適正化・鶴舞団地現地視察・生活アドバイザーの設置・都市計画など）</p>																			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																				
<p>【UR住宅年間転入者数】</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <caption>UR住宅年間転入者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>転入者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>96</td></tr> <tr><td>H28</td><td>93</td></tr> <tr><td>H29</td><td>75</td></tr> <tr><td>H30</td><td>79</td></tr> <tr><td>R01</td><td>103</td></tr> <tr><td>R02</td><td>110</td></tr> <tr><td>R03</td><td>77</td></tr> </tbody> </table>					年度	転入者数	H27	96	H28	93	H29	75	H30	79	R01	103	R02	110	R03	77
年度	転入者数																			
H27	96																			
H28	93																			
H29	75																			
H30	79																			
R01	103																			
R02	110																			
R03	77																			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>UR西大和片岡台については、今後も人口減少が深刻化していくことが予想されており、今後の活用や入居促進について、UR都市機構と行政間での具体的な協議・取組を望む住民は増えています。</p>																			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度等、若者に好まれる環境整備の支援が考えられますが、協議が進展していない状況です。UR都市機構との連携で類似の支援を実施している他団体に、どのような方法（費用負担等）で実現できたのかなどについてヒアリングを行うなど、今後も引き続き情報収集を行いながら、UR都市機構との協議を継続していきたいと考えます。</p>																			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） UR都市機構との連携で類似の支援を実施している他団体にヒアリングを行うなど、今後も引き続き実現に向けた情報収集を行いながら、UR都市機構との協議を継続していきたいと考えます。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	③ 住宅		
施策の展開方向		① 良好な住環境の確保			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		引き続き、UR都市機構と連携し、若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度など、若者に好まれる環境整備など、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望等を行います。			
指標（予定）	KPI	UR都市機構等関係者とのまちづくりに関する意見交換回数（年間）	3回		
	—				
	—				
	—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	UR住宅の活用協議の中で、UR都市機構が提供している既存のサービス「近居割」について紹介していただき、同居・近居に関する問い合わせ対応用の資料の提供を受けましたが、支援体制の構築に至らず、同居・近居に関する問い合わせもありませんでした。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 高齢化が進行するに伴い、親世代との同居や近居の支援に関するニーズは一定程度見込まれます。			
事業の見直し余地 （改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 同居・近居に関する相談に対し、様々な選択肢を提案できるよう他の事業も含め調査研究を進めていきたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容 （改善点に対する 改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 同居・近居に関する相談に対し、様々な選択肢を提案できるよう他の事業も含め調査研究を進めていきたいと考えます。			
後期 基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策			
		基本施策			
施策の展開方向					
令和4年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）		指標 （予定）	—		
			—		
			—		
			—		
			—		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	●事業の分析（評価の根拠・理由）															
	<p>委託料として、日常業務に支障なく実施しました。 配水管として、他工事の遅延により1工区については繰越となりましたが、2・3工区においては予定通り工事を完了することができ、残る1工区の早期完了を目指しました。設計業務においては遅延なく実施することができました。 水道施設耐震化事業として、水道事業庁舎の耐震化工事は先送りとなりましたが、配水池耐震化工事が完了したことにより、配水池の耐震性能が回復したことにより一定の成果は得られました。引き続き水道事業庁舎の耐震化工事を実施し庁舎の耐震性能の回復を目指します。管路耐震化更新計画の策定については、遅延なく実施、今後内容の精査を行い緊急度の高い箇所より、耐震化更新を実施する予定です。 近年低下していた有収率について、漏水等の修理改善により全国的にも高い水準を維持することができました。</p>															
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>有収率</td> <td>93.8%</td> <td>93.05%</td> <td>93.19%</td> <td>93.92%</td> <td>95.4%</td> </tr> </table>						平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	有収率	93.8%	93.05%	93.19%	93.92%	95.4%
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度											
有収率	93.8%	93.05%	93.19%	93.92%	95.4%											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	評価の根拠及び理由															
	<p>水道施設の老朽化が深刻化しており、管路の漏水また地震等による管路破損等が懸念される中、安定した水道水の供給を行うため、施設維持管理体制の強化が求められています。 また、県域水道の一体化に向けて県・各市町村と連携して、事業を進めていますので、今後の国、県の動向を見据えて随時検討していきます。</p>															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない												
	評価の根拠及び理由															
	<p>水道施設の老朽化に伴い施設維持管理の強化が求められており、令和3年度策定の管路耐震化更新計画を基に、優先度の高い路線から順次更新することにより、管路の健全化につながるものと考えています。 また、県域水道の一体化に向けて県・各市町村と連携して、事業を進めていますので、今後の国、県の動向を見据えて随時検討していきます。</p>															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 【管路耐震化更新計画の策定】 管路耐震化更新計画を基に管路更新の優先順位を再精査し管路更新を進めます。 耐震管を用いた管路を形成することにより耐震化を図ります。 【管路の健全化】 管路更新計画を基に優先度の高い箇所より計画的に実施します。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	④ 上水道・下水道		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 安定した給水体制の構築			
	・県域水道一体化に向けて、令和4年度の動向として、基本計画案及び基本協定案の作成・精査を行い基本協定締結に向けて、各市町村で対応を進めていきます。 ・令和4年度予定事業として、水道事業庁舎耐震化工事の実施及び上牧交差点配水管更新工事の実施します。				
	指標（予定）	KPI	有収率	96%	
		—			
		—			
		—			

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	上下水道課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	66ページ
担当係	工務係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—
	基本施策	④ 上水道・下水道
	施策の展開方向	② 下水道の普及
目指す姿	タイトル	おいしい水と安定したインフラ設備が整ったまち
		効率的・計画的に維持管理された施設・管路からは安全でおいしい水が安定供給されるとともに、下水道の整備により衛生的な生活や水環境の保全、雨水・災害時の安全対策が進んだ清潔で快適なくらしができるまちを目指します。
想定される取組	【下水道長寿命化計画の策定】 【老朽管渠の改築と更新】	
令和3年度実施予定	趣旨目的	公共下水道未普及対策の促進及び、下水道ストックマネジメント計画における管渠の老朽化対策並びに、下水道事業公営企業会計への移行を目的としています。
	内容	①都市計画道路（服部台明星線）新設工事に伴い、滝川第1処理分区（服部台地区）の普及促進を行うべく、未整備地区における面的整備を実施します。（服部台地区）開削工法φ200mm 工事延長L=278m ②西大和第2処理分区（片岡台地区）において、下水道ストックマネジメント修繕改築計画に基づく改築工事を実施します。 ・工事延長L=173m ③滝川第1処理分区（葛城台地区）において下水道ストックマネジメント計画調査・診断業務を実施します。 ・調査、診断延長L=1,830m ④下水道事業公営企業会計適用に向けての移行作業として、下水道固定資産調査・評価を実施します。
総合戦略の取組		

2. 実施結果「DO（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）		
事業費	公共下水道事業（葛下川第5処理分区北上牧地区汚水管渠）	18,000	16,000	16,000	16,500	0		
	公共下水道事業（滝川第1処理分区服部台地区汚水管渠）	0	0	0	0	15,000		
	公共下水道事業（滝川第1処理分区新町地区汚水管渠）	0	0	12,000	9,834	0		
	下水道長寿命化対策事業（西大和第1処理分区片岡台地区汚水管渠）	30,000	30,000	30,000	10,560	0		
	下水道ストックマネジメント事業	0	20,000	20,000	20,104	37,200	（改築工事） 14,850	
	下水道地方公営企業法適用事業	0	0	0	5,383	15,290	（調査+実施設計） 22,150	
	合計（R03時点）	48,000	66,000	78,000	62,381	67,490	5年間累計 321,871	
	合計（R04時点）	48,000	66,000	78,000	62,381	71,212	5年間累計 325,593	
	令和3年度実施結果	実施状況	①計画通りに実施した					
		説明 （①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載）						

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 （算定根拠・方法）	単位	H27 （2015年） 【基準値】	R02 （2020年）	R03 （2021年）	R03 （2021年） 【目標値】	R08 （2026年） 【最終目標値】	
				実績値	目標値 実績値			
KPI	水洗化率	水洗化人口÷処理区域内人口	%	95.7	96.40	96.50 96.23	96.5	97.3
独自	下水道管渠整備延長	管渠整備延長	m	—	—	278m 278m	—	—
独自	下水道ストックマネジメント計画改築率	実績延長÷全体計画延長	%	—	—	7.0 7.0	—	—
独自	下水道ストックマネジメント計画に伴う調査・診断達成率	実績延長÷全体調査延長	%	—	—	57.0 65.0	—	—
独自	下水道事業公営企業法適用業務作業達成率	実績支払額÷全体契約額	%	—	—	66.0 66.0	—	—

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																			
	<p>①都市計画道路（服部台明星線）新設工事に伴う滝川第1処理分区（服部台地区）の面的整備において、予定通り設定した区間整備を実施することができました。</p> <p>②西大和第2処理分区（片岡台地区）の下水道ストックマネジメント修繕改築計画に基づく改築工事については、予定通り設定した区間整備を実施することができました。</p> <p>③下水道管渠の老朽化対策である下水道ストックマネジメント計画に基づき、築造年度の古い滝川第1処理分区（葛城台地区）の調査・診断業務（L=2,180m）が完成したことにより、達成率が65%になりました。</p> <p>④下水道事業公営企業会計適用に向けての移行作業として、下水道固定資産調査及び評価作業を実施しました。</p> <p>○水洗化率等は事業の分析表のとおりであり、昨年度に引き続き北上牧一部地区における供用開始を実施し、処理区域内人口が増加したことにより、水洗化率が96.23%と低下はしたものの、未接続家庭への個別訪問等を行い水洗化率向上に向けた取組を行ってまいります。</p>																																																			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																				
【普及率及び水洗化率】																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>住民基本台帳人口</th> <th>処理区域内人口</th> <th>普及率</th> <th>水洗化人口</th> <th>水洗化率</th> <th>処理区域面積</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>22,642人</td> <td>21,496人</td> <td>94.94%</td> <td>20,713人</td> <td>96.36%</td> <td>381.46ha</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>22,390人</td> <td>21,373人</td> <td>95.46%</td> <td>20,611人</td> <td>96.43%</td> <td>381.54ha</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>22,212人</td> <td>21,194人</td> <td>95.42%</td> <td>20,485人</td> <td>96.65%</td> <td>382.12ha</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>22,057人</td> <td>21,111人</td> <td>95.71%</td> <td>20,352人</td> <td>96.40%</td> <td>382.15ha</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>21,830人</td> <td>20,982人</td> <td>96.12%</td> <td>20,191人</td> <td>96.23%</td> <td>399.51ha</td> <td>確定</td> </tr> </tbody> </table>					年度	住民基本台帳人口	処理区域内人口	普及率	水洗化人口	水洗化率	処理区域面積	備考	H29	22,642人	21,496人	94.94%	20,713人	96.36%	381.46ha	確定	H30	22,390人	21,373人	95.46%	20,611人	96.43%	381.54ha	確定	R01	22,212人	21,194人	95.42%	20,485人	96.65%	382.12ha	確定	R02	22,057人	21,111人	95.71%	20,352人	96.40%	382.15ha	確定	R03	21,830人	20,982人	96.12%	20,191人	96.23%	399.51ha	確定
年度	住民基本台帳人口	処理区域内人口	普及率	水洗化人口	水洗化率	処理区域面積	備考																																													
H29	22,642人	21,496人	94.94%	20,713人	96.36%	381.46ha	確定																																													
H30	22,390人	21,373人	95.46%	20,611人	96.43%	381.54ha	確定																																													
R01	22,212人	21,194人	95.42%	20,485人	96.65%	382.12ha	確定																																													
R02	22,057人	21,111人	95.71%	20,352人	96.40%	382.15ha	確定																																													
R03	21,830人	20,982人	96.12%	20,191人	96.23%	399.51ha	確定																																													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>下水道未整備地区からの管渠整備への要望が多いことです。また、西大和地区の下水道管渠については、敷設40年以上経過している管渠も多く老朽化が進んでいるため、改築更新事業を行っていく必要が生じています。</p>																																																			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>事業の整備計画変更等により、将来計画に伴う施工箇所を見直しいくと共に、町民からの要望に沿うよう事業を進めていきます。また、今後の補修整備については、ライフライン確保の観点からも早急な補修が要求されます。</p>																																																			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>下水道未整備地区（北上牧地区の一部）においては、事業整備計画に基づき計画的な工事発注を行い管渠の整備を促進し、町民の生活環境の向上を図ります。なお、（新町地区の一部）については、令和2年度で完了し（服部台地区の一部）については、令和3年度で完了となりました。</p> <p>下水道管渠の老朽化対策については、片岡台2丁目地区での長寿命化計画による改築工事が令和2年度で完了となり、引き続き片岡台1丁目地区において、下水道ストックマネジメント計画に伴う改築工事を進めていきます。</p> <p>下水道事業公営企業会計適用に向けて、令和2年度に移行作業を開始しており令和5年度移行を目指します。</p>				
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—			
		基本施策	④ 上水道・下水道			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向		② 下水道の普及			
	指標（予定）	KPI	公共下水道普及率			96.7%
		独自	下水道管渠整備延長			151m
		独自	下水道ストックマネジメント計画改築率			19.0%
		独自	下水道ストックマネジメント計画に伴う調査・診断達成率			70.0%
		独自	下水道事業公営企業法適用業務作業達成率			100.0%

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>・バリアフリー基本構想推進協議会の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催としました） 令和3年3月 上牧町バリアフリー基本構想推進協議会開催（書面開催）「特定事業計画」策定</p> <p>・バリアフリー基本構想計画書の作成（第3章）（上牧町役場、2000年会館、バガサスホール及び中央公民館）における具体的な整備に向けた段階としてイメージ図の作成を行いました。</p> <p>・奈良県高田土木事務所管轄 工事名 中筋出作川合線歩道工事（現道の段差を解消する工事） 工期 令和3年1月25日から令和3年6月30日 中筋出作川合線歩道工事 延長 1=560m</p>			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>バリアフリー重点地区内における町道歩道部の点字ブロック整備延長 点字ブロック整備延長 整備済延長／総延長 455m／1,985m 23%（R2年度データ）</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>上牧町バリアフリー基本構想を策定したことにより、今後は本基本構想をもとに環境整備を行う予定ですが、事業の見直しについては、現地の状況調査等をした上で、できることからバリアフリー化を検討していきたいと考えています。 バリアフリー基本構想推進協議会を中心として適宜事業の評価を行い必要に応じて見直しを行うPDCAサイクルにより、事業スケジュールの適正な管理と事業の質の確保を行っていく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 本基本構想の推進にあたっては、PDCAサイクルを機能させながら進行管理を行うこととしており、本基本構想において課題の残る部分についてはブラッシュアップを図るとともに、事業の実施にあたっては、バリアフリー基本構想計画書に則り特定事業計画を行うことで事業の推進を図ります。 また、上牧町バリアフリー基本構想推進協議会を開催し、基本構想策定後の段階的、継続的な取組（スパイラルアップ）に向けての体制づくりを行っていき、進捗状況の把握、事業評価、その他の効果の検証、評価を踏まえた計画等の見直しを行っていきます。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境・快適で住み良く自慢できるまちづくり		
		基本施策	⑤ バリアフリー		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 面的・一体的なバリアフリー整備の推進			
	バリアフリー基本構想推進協議会を開催します。（3回） 庁内検討委員会を開催します。（2回） バリアフリー基本構想計画書の作成（第1～3章）の集約及び第4章として全体のまとめを行い、製本を行います。 令和5年度からのバリアフリー整備事業の推進に向けた準備（交付金申請等）を進めていきます。				
	指標（予定）	KPI	歩道のバリアフリー整備状況		455m
		—			
		—			
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	・バリアフリー基本構想推進協議会の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催としました） 令和3年3月 上牧町バリアフリー基本構想推進協議会開催（書面開催）「特定事業計画」策定			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 高齢化や障がい者の移動について、地形上の問題から徒歩による移動の円滑化や移動手段の充実を求めるニーズは今後も増えてくると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 上牧町バリアフリー基本構想を策定したことにより、今後は本基本構想をもとに環境整備を行う予定ですが、事業の見直しについては、現地の状況調査等をした上で、できるところからバリアフリー化を検討していきたいと考えています。 バリアフリー基本構想推進協議会を中心として適宜事業の評価を行い必要に応じて見直しを行うPDCAサイクルにより、事業スケジュールの適正な管理と事業の質の確保を行っていく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 本基本構想の推進にあたっては、PDCAサイクルを機能させながら進行管理を行うこととしており、本基本構想において課題の残る部分についてはブラッシュアップを図るとともに、事業の実施にあたっては、バリアフリー基本構想計画書に則り特定事業計画を行うことで事業の推進を図ります。 平成30年に策定した上牧町バリアフリー基本構想の見直し時において、重点整備地区並びに特定事業の修正項目として、避難場所に指定されている公園を高齢者や体が不自由な方が災害時においても安全に避難ができるように、公園出入口のバリアフリー化を実施できるような計画等を取り入れ、すべての町民の安全を確保できるよう進めていきます。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	⑤ バリアフリー		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 面的・一体的なバリアフリー整備の推進			
	バリアフリー基本構想推進協議会を開催します。（3回） 庁内検討委員会を開催します。（2回） 葛城台地区の公園においては、インクルーシブ遊具（ブランコ（2席））を導入します。 公園選定理由としては、滝川遊歩道の整備が完了したこと、ブランコ（4席）であること、公園と道路との高低差が少ないことから、この公園への設置を行います。				
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	桜ヶ丘駐輪場花壇の会には、夏にはジニア150本、冬にはパンジー150本を植えてもらい景観保全に努めました。農業委員会には、遊休農地（1筆）を利用して、夏はコスモス、冬にはレンゲを植えてもらい景観保全に努めました。「ら・かんまき・笹ゆり」については、笹ゆり植栽活動（役場前、上牧第三小学校、上牧第二中学校、金富公園、桜ヶ丘公園、上牧幼稚園、2000年会館東側土手、米山台こいの広場）を行っていただきました。役場ロビーでの笹ゆり展示及び笹ゆりの球根をペガサスフェスタへ提供する活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 景観保全目的で植えている花ですが、住民の方からも評判が良く、引き続き活動を続けてほしいとのお声をいただきました。笹ゆりについては、開花時期の5～6月には開花場所や購入に関する問い合わせがたくさん寄せられており、ニーズは高いと思います。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 借り手のない遊休農地または町所有の土地で利用可能な土地をピックアップし、全ての団体の活動を拡大することを検討します。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 全ての団体の活動に対して、広報やホームページへ掲載するなどの周知活動を行うとともに、借り手のない遊休農地または町所有の土地で利用可能な土地をピックアップし、全ての団体の活動を拡大することを検討します。また、これら以外の活動団体を募集し本事業の推進に努めていきます。				
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—			
		基本施策	⑥ 環境保全			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向		① 町民・団体・行政による自然管理			
	指標（予定）	KPI	遊休農地の活用件数（累計）			2筆
		—				
—						
—						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>整備が行き届いていない森林の所有者の方への通知や里山保全の認知活動を概ね月1回程度、農業委員会の協力のもと行いました。また同時に不法投棄等が行われていないかの調査も行いました。</p> <p>上牧町の山林におけるイノシシ発生に伴い、里山の保全及び住民への被害を防ぐため猟友会協力のもと防除活動を行い、7頭のイノシシを捕獲しました。</p> <p>森林管理の適正化の一體的な促進を図り、森林の多面的機能の発揮に資するために、経営管理集積計画の前提となる各種調査、意向調査等を実施しました。</p> <p>上牧町アライグマ防除実施計画に基づき、10頭のアライグマを捕獲し奈良県家畜保健衛生所へ持ち込みました。</p> <p>森林教育及び普及の観点から、森林環境基金を利用し町内小学校5年生全クラスの野外活動への研修費に充てました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>里山の保全について、上牧町の森林は個人所有のものが大半を占めており、整備が行き届いていない森林も多くみられ、近年災害対策等が注目されていることも踏まえると今後ニーズは増えることが予想されます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>里山を保全することによる環境改善や防災対策、鳥獣対策等のメリットがあるということを多くの森林所有者の方は認知されておりません。また、相続されていない森林や所有者不明の森林も多数存在するため周知活動は必須となっております。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 里山を保全することによる環境改善や防災対策、鳥獣対策等のメリットがあるということを森林所有者の方へ通知し、認知してもらう活動を行うとともに、町のHPや広報に掲載します。また、相続されていない森林や所有者不明の森林を少しでも減らすよう、農業委員会協力のもと周知活動を行っていきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	⑥ 環境保全		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 里山の保全			
	山林等への不法投棄について、月1回程度パトロールを実施するなどの啓発活動を関係課とともにを行います。宅地開発に対し良好な生活環境に配慮した指導の取組及び関係各課での事前協議の実施と指導を行います。上牧町森林整備計画に基づき、森林の伐採等の申請があった際、計画に沿った申請であるか確認し指導を行います。整備が行き届いていない森林の所有者の方への通知や、里山保全の認知活動を行います。森林環境譲与税を活用または基金へ積み立てることにより、環境保全に関する事業を推進していきます。有害鳥獣被害防除事業として、山林におけるイノシシ等の有害鳥獣の防除活動を展開します。				
	上牧町アライグマ防除実施計画に基づき、アライグマの捕獲に向け、檻の貸し出し等の活動を実施します。森林教育及び普及の観点から、森林環境基金を利用し町内小学校5年生全クラスの林間学校への研修費に充てます。				
	指標（予定）	KPI	森林所有者の森林管理・整備に関する意向確認進捗率	10%	
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	定期的な巡回パトロール（毎週月曜日実施）により、不法投棄の防止及び監視体制の強化に努めました。 過去に不法投棄された場所及び看板設置依頼のあった場所（7ヶ所）に対して、「不法投棄禁止」看板を設置を行いました。 広報に、不法投棄防止について2ページにわたり啓発を行いました。			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	町だけではなく、自治会・町民・警察等と連携をとり、不法投棄のない街を目指します。			
事業の見直し余地 （改善点）		<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	引き続き、定期的な巡回パトロールを行い、不法投棄の防止及び監視体制の強化に努めますが、撲滅したわけではないので、自治会等との連携を視野に入れ、町全体で監視するイメージで対策を講じます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容 （改善点に対する 改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 現状の対策に加え、新たな対策を模索していきます。			
後期 基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	⑥ 環境保全		
令和4年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	施策の展開方向	② 里山の保全			
	指標 （予定）	—			
		—			
—					
—					
—					

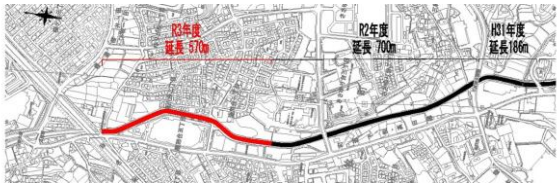
3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>「上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」の規定に基づき、土地所有者に対して①立入調査実通知書、②指導書、③勧告書、④命令に係る事前の通知書、⑤命令書の通知書、⑥公表に係る事前の弁明の機会の付与通知書、⑦過料に係る事前の弁明の機会の付与通知書の通知を行い、必要な措置を講ずるよう指導しました。</p> <p>また、「空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」に該当しない空き地については、「上牧町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」に基づき適正管理に努めるよう指導しました。</p>			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>空き地に隣接した住民から定期的な清掃が求められています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」において、想定されない事案（居所不明や相続人不明）があるため、今後においてはそのような場合どのように処理していくか追究していく必要があります。また、町が関与せず所有者が定期的に自身の土地について適正に管理するよう働きかけていきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」において想定されない事案については、顧問弁護士の意見を取り入れながら対策していきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	⑥ 環境保全		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 環境汚染の防止			
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
		—			
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から清掃活動を中止しました。</p> <p>令和3年度 滝川の堆積土砂撤去工事（高田土木事務所管轄） 県管理である滝川の堆積土砂の撤去工事を実施して頂きました。 工事延長 L=570m 堆積土砂の撤去V=540m³ 堤防除草A=6,037m² 塵芥処理A=6,037m²</p>			
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	令和3年度 滝川堆積土砂撤去工事位置図			
				
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>滝川の清掃活動について、より多くの活動を要望されることが想定されます。</p> <p>いかに滝川の清掃活動を有効かつ効率的に進めるか、毎年実施していく中で検討していく必要があります。また、滝川水辺の整備事業と連携を取り合い、滝川の美化活動について検討する必要があります。</p> <p>環境保全について、住民を盛り上げる政策をいかに進めるか検討していく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 大和川一斉清掃の一環として、水質改善啓発活動の実施並びに滝川の一斉清掃を実施します。 今後の活動方針として、建設環境課だけの取組ではなく、建設環境課以外の職員についても協力要請を呼びかけ、また、広報による呼びかけ以外にも一般参加者の参加人数の増加に向けた取組を検討し、清掃活動規模の拡大に向けた検討を行っていきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	⑥ 環境保全		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 環境汚染の防止			
	指標（予定）	—			
		—			
—					
—					
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	●事業の分析（評価の根拠・理由）															
	令和3年度では、滝川左岸において滝川台入り口から葛城台までの区間の遊歩道整備と茨崎池堤防に公園の整備を実施しました。奈良県による滝川親水護岸整備工事箇所について、農繁期に水を溜めた場合でも通行可能な高さへのかさ上げと防護柵及び門扉を設置する工事を実施しました。その他、奈良県による滝川河床の堆積土砂撤去工事についても昨年に引き続き実施しました。															
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																
<p style="text-align: center;">滝川遊歩道整備事業進捗率</p> <table border="1"> <caption>滝川遊歩道整備事業進捗率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>21.5%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>88.5%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	進捗率	H30	10.9%	R1	21.5%	R2	44.4%	R3	88.5%	R4	100.0%
年度	進捗率															
H30	10.9%															
R1	21.5%															
R2	44.4%															
R3	88.5%															
R4	100.0%															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	評価の根拠及び理由 滝川周辺は野鳥や季節ごとの草木が観察でき、町民にとって身近な散歩道となっています。また、高齢化に伴い住民の健康志向の高まりもあり、遊歩道整備についての要望は高まっていると考えられます。															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない												
	評価の根拠及び理由 上牧町第5次総合計画において、将来都市構想における都市の骨格となる軸と位置づけている「かんまき笹ゆり回廊」を中心としたにぎわいあるまちづくりを目指して、県と連携して滝川の水辺景観整備を今後も進めて行く必要があります。															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「かんまき笹ゆり回廊」を中心としたにぎわいあるまちづくりを目指して、県と連携して滝川の水辺景観整備を遊歩道整備後も引き続き行っていきます。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—	
		基本施策	⑥ 環境保全	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	④ 景観緑化		
	指標（予定）	KPI	まちのきれいさや騒音の少なさなど身の回りの環境に満足している町民の割合	—
		KPI	かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率	95%
—				
—				
—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>令和3年度では、公園内の遊具の安全性を確保するため、町内の遊具の設置している公園58箇所(全公園65箇所)において、公園施設点検管理士の有資格者による公園遊具の保守点検を実施しました。また、職員においても公園遊具の点検パトロールを実施しました。</p> <p>令和3年度町内公園遊具保守点検結果 ・A判定：7遊具 ・B判定：53遊具 ・C判定：129遊具 ・D判定：35遊具 遊具の保守点検結果から優先順位を定め、令和3年度においてはD判定の遊具4箇所の修繕（米山台地区2箇所、北上牧地区、緑ヶ丘地区）を実施しました。 残りのD判定の遊具に関しては令和4年度に修繕を予定しています。 令和元年度において作成した公園における公共施設マネジメント台帳に基づき計画的に修繕を行っています。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>少子高齢化の進展に伴い、従来公園が担ってきた役割にも変化が生じ、幅広い年代の住民が集う地域コミュニティの形成を促すことのできる公園の整備に対する要望が高まり、今後、維持管理、更新及び充実に対するニーズが増加すると考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>公園利用者の安全性と施設機能の確保を実現するため、効率的な施設の維持管理を図り、修繕や更新等を計画的に行うアセットマネジメントの考え方を踏まえた取組が必要となってきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 公園内遊具の安全性を確保するため、町内都市公園及び町管理公園において公園遊具の保守点検を実施していきます。公園施設において今後進展する老朽化に対する遊具の安全対策の強化とライフサイクルコストの縮減を図るため、定期的な遊具の保守点検と点検結果を考慮した効率的な維持管理を行っていきます。 D判定の遊具に対しては、修繕の優先順位等も勘案しながら、修繕を行っていきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	③ 都市環境—快適で住み良く自慢できるまちづくり—		
		基本施策	⑥ 環境保全		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	⑤ 公園緑地			
	<p>公園遊具保守点検業務にて、D判定かつ子どもたちに危害を及ぼす可能性のある遊具に関しては、使用禁止等の対応をしていきます。 遊具等の修繕については、危険性の高い遊具等から実施していきます。</p> <p>葛城台地区の公園においては、インクルーシブ遊具（ブランコ（2席））を導入します。 公園選定理由としては、滝川遊歩道の整備が完了したこと、ブランコ（4席）であること、公園と道路との高低差が少ないことから、この公園への設置を行います。</p>				
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 令和3年度では、自然環境保全地区内行為届出が8件あり、奈良県自然環境保全条例に規定されている「保全地区」内行為の取り扱い基準に基づき、審査した結果問題ないことが確認できたため、副申しました。	
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。	
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 近年、人口減少が進み開発圧力が低下する中で、上牧町の地域の課題に応じた土地利用の秩序又は計画的誘導が求められています。	
	事業の見直し余地（改善点）	
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 「奈良県都市計画区域マスタープラン」の改定や上牧町都市計画道路の見直しを受けて、適正に対応するために最上位計画である上牧町第5次総合計画に沿った形で、都市計画マスタープランの一部見直しを行う必要があります。	
	事業の見直し余地（改善点）	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 都市計画マスタープランの見直しに向けて参考になるような他市町村の都市計画マスタープランの調査を行い、内容について研究していきたいと考えています。		
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策		
		基本施策		
		施策の展開方向		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		指標（予定）		
		—		
		—		
		—		
		—		
		—		